

復職支援実技研修報告

【フィジカルアセスメント】

急変時の観察と看護のポイント

日時：R5年8月4日(金)9:30~12:30

場所：秋田県立衛生看護学院

講師：救急看護認定看護師 枝川 穂子 氏

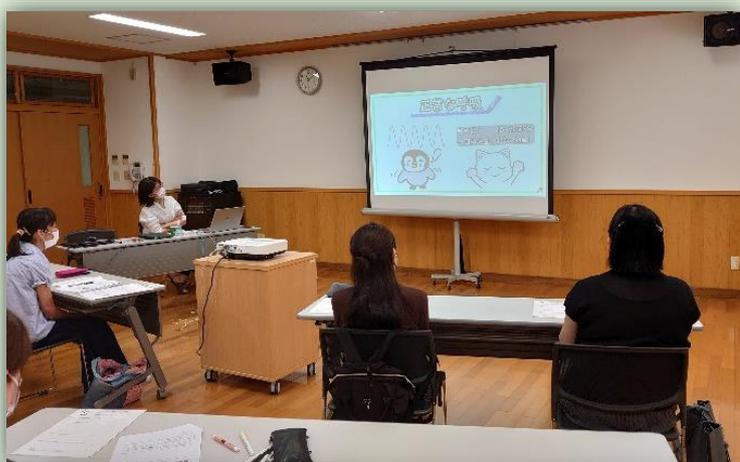
参加者：5名

感想：・知識の再確認と新しい知識の習得につながった。講師の経験を踏まえてお話いただいたので、ストンと自分の頭の中に入ってきました。

・単科病棟に勤務していますが、身体管理を要するような状況から遠ざかっているような気がした為、今回、研修に参加しました。

・急変の経験が少なく知識・技術に不安があったので、先生の経験や症例を交えた講義、大変勉強になりました。今後の看護に活かしていきたいと思います。

・実体験が多く、イメージがしやすく分かりやすかったです。



あなたの「気づき」は？

- * Eさんはトイレ歩行中に息苦しさや胸痛を訴えた
- * 息苦しさは呼吸困難が疑われ、胸痛という痛みは何らかの異常のサインと考えられる
- * 朦朧とした意識は、意識状態の低下と考えられる



何が起きていると考えられる？

- * 術後の歩行時に重症肺血栓塞栓症が起り、呼吸困難が生じた
- * 胃全摘術後であることから歩行などの運動により出血し、出血性ショックが起こった
- * 胸痛を訴えていることから、心筋梗塞や狭心症などACS(急性冠症候群)を発症した
- * 意識朦朧としていることから、低血糖が起こった

